

Workshop Report 2025

R8.2.13 (Fri) 13:00～16:00

Contents

岡山県庁 9階大会議室

※オンラインとのハイブリッド開催

1 開会



2 あいさつ（岡山県）



3 地域アプローチについて

（内閣官房 地域未来戦略本部事務局）



4 バックアップ事業の成果等について

- バックアップ事業取組紹介（岡山県・(株)大広）
- 令和7年度参加市町の成果報告
（津山市、笠岡市、備前市、真庭市、和気町、香川県さぬき市）
- 令和6年度参加市町の実施状況
（高梁市、新見市）



5 令和8年度の少子化対策事業について（岡山県）

6 閉会

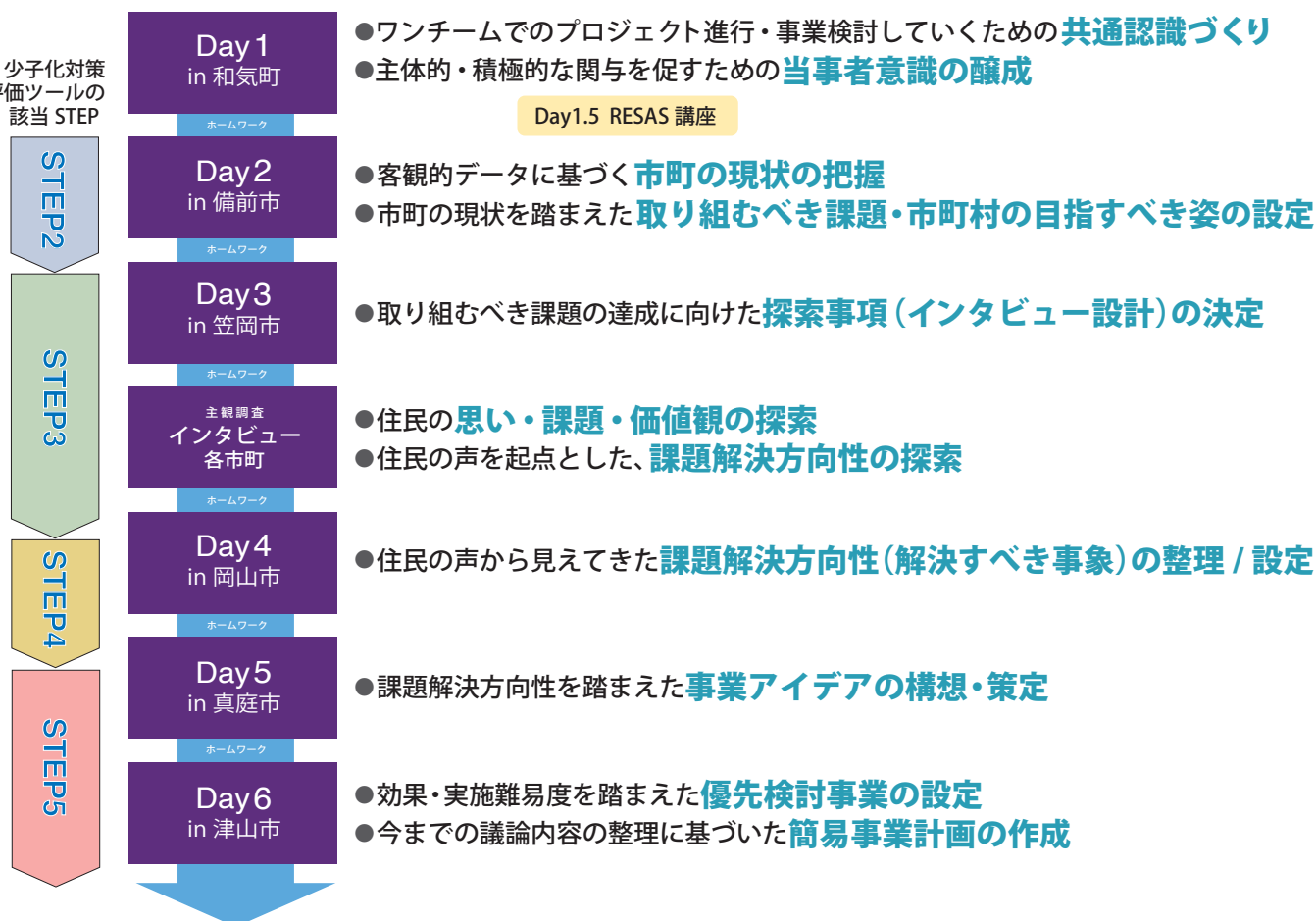
主催：岡山県 委託事業事務局：(株)大広
協力：内閣官房 地域未来戦略本部事務局
中国経済産業局

少子化対策地域評価ツールでは、地方公共団体による「地域アプローチ」による少子化対策の取組を6つのSTEPに分割して紹介しており、それを支える都道府県の役割についてもまとめている

- ## 「地域アプローチ」による取り組み方について



少子化対策
地域評価ツールの
該当 STEP



▶ 少子化対策に挑戦する市町村バックアップ事業のイメージ

市町村

- 少子化対策を担う部署や部局横断的組織がない市町村も存在。
- 担当者は多岐にわたる業務を兼務。
⇒ 少子化の要因分析ができていない。
対策を検討する人的な余力がない… 等
- 事業構築や交付金活用等のノウハウの蓄積が少ない。

県

- 出生率等に関連する指標の状況は地域によって大きく異なる。
要因や課題にも地域差があり、画一的な対策では限界がある。
- 市町村に比べ、地域の実態に即した対策の実施が難しい。
- 少子化対策は、「できることは、すべてやる」という強い意志で取り組む。

バックアップ事業

【1年目：協議会方式による調査事業等の実施／各市町村 100万円】

県と市町村の連携による地域課題の把握と オーダーメイド型の少子化対策検討

市町村

- 各種統計・調査データや
既存施策等の情報共有
- 不足データの調査、
地域実態等の共有
- 課題の把握、対策検討、
予算・事業化

県

- ノウハウの提供、
人的支援や財政支援の実施
- 県内データとの比較、県民意識調査、
他自治体情報や先進事例等の提供
- 予算化、事業構築、
交付金活用の助言や資料作成支援

助言

専門家等

- 学識的視点での助言
- 優良事例の紹介 等

連携

WS運営・調査等補助

国

- 他県の先進事例等の提供
- 交付金活用の助言 等
- 指標関連データ分析支援
(RESAS 等)

【2年目：補助額／各市町村 500万円】

市町村の実態に 即した対策実施



【実施後】

全市町村と スキーム・事例の共有

委託事業者

(県委託)

- ワークショップの運営、
原因・課題分析補助
- 不足データの
調査方法提案 等